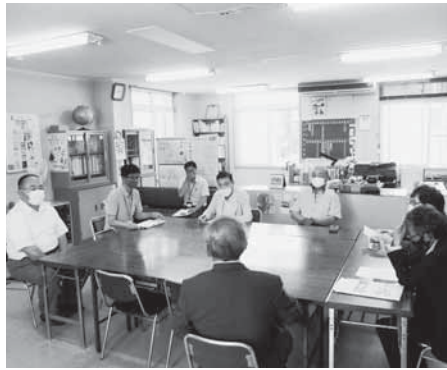




北松北部クリーンセンター



少年センター

館、福島総合運動公園（体育館、武道館）、福島養源小・福島中学校、福島保健センター、福島ごみ埋立地、北松北部クリーンセンター、松浦中央学校給食共同調理場、生涯学習センター、少年センター、スポーツセンター、勤労青少年ホーム、児童館の調査を行いました。各施設の現状を調査することで、今後の委員会審査に役立ててまいります。



鷹島小学校・鷹島中学校

その他各委員会の活動

【鷹島海底遺跡保存活用特別委員会】

昨年12月22日に実施した参考人招致における参考人からの意見陳述に關して、去る4月15日に開催した当委員会において理事者への質疑を行いました。国の機関の設置など市が要望している事項の実現に向けた取り組みや、鷹島海底遺跡の学術面と観光面をどのようにつなげていくかなどについて、現時点でのお互いの意見交換をいたしました。当委員会の今後の活動につなげてまいります。

県知事・県議会要望

5月27日長崎県庁において、市長、議長、地元選出県議会議員出席のもと、松浦市が抱える課題などについて、県知事および県議会議長に対し要望書を提出の上、その概要について説明を行い、質疑応答や意見交換を行いました。

重点要望項目について概要を記載します。

一、鷹島神崎遺跡の保存と活用について

鷹島神崎遺跡は、蒙古襲来に関する海底遺跡として国内初の国史跡に指定された世界的にも非常に貴重な遺跡であり、40年以上にわたり継続的に調査・研究が行われている国内唯一の水中遺跡であるが、その調査には多大な費用がかかるとともに、発掘後には、保存処理、展示公開のための施設整備が必要となるため、単独の自治体で取り組むには課題も多く限界があることから、調査研究および保存管理について国策として取り組むことや、水中遺跡の調査研究の推進に特化した新たな制度の創設、水中遺跡保護に係る研修地としての活用などをお願いしました。

二、脱炭素社会における松浦火力発電所の存続について

国において2050年に脱炭素社

会の実現を目指すことが宣言され、石炭火力に対する政策を抜本的に転換することが表明されましたが、総出力370万キロワットの火力発電所が立地する本市においては、休廃止の対象となれば雇用の場の喪失や消費などの低迷により、地域経済に及ぼす影響は計り知れず、さらに再生可能エネルギーの重要な調整電源の存在も失うことになることから、脱炭素社会に対応した形での火力発電所の存続を強く望んでおり、県においては、国への働きかけや、必要な支援を行っていただくようお願いしました。

その他、以下について要望しましたので、項目のみ掲載します。

三、松浦魚市場を核とした加工・物流拠点整備のための新たな用地造成について

四、福島大橋の機能拡張に向けた改良事業の早期実施について

五、水産物の輸出・消費拡大対策について

六、西九州自動車道の整備について

七、原子力防災対策について

八、電源三法交付金制度の見直しについて

九、親元就農による経営継承に対する支援について

十、主要地方道「佐世保日野松浦線」（仮称・棕呂路トンネル）の整備促進について